



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和5年3月第3回市長定例記者会見

- ・日時 令和5年3月15日(水)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 日本のまんなか しぶかわ応援大使の委嘱記念品「オリジナルこけし」が完成しました(資料1)
- 2 渋川市内で創業にチャレンジする人を応援します(資料2)
- 3 共生社会の実現に向けて店舗改装・備品購入をする事業者を応援します(資料3)
- 4 住宅エコリフォームに補助金を交付します(資料4)
- 5 犯罪被害者等の渋川市営住宅等への入居を支援します(資料5)

○次回開催予定

日時：令和5年3月23日(木) 午後1時～

場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
3月13日(月)	9:30	中学校卒業式	子持中学校	学校教育課
	13:30	渋川市まちづくり財団評議員会	市民会館小ホール	政策創造課
3月14日(火)	10:00	3月市議会定例会：一般質問	議場	議会事務局
3月15日(水)	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
	17:00	第11回全日本小学生低学年選抜アイスホッケー大会出場者市長表敬訪問	庁議室	スポーツ課
3月16日(木)	10:00	予算常任委員会	大会議室	議会事務局
	18:00	NHK全国放送公開番組「新・BS日本のうた」公開収録	市民会館大ホール	政策創造課
3月17日(金)	10:00	予算常任委員会	大会議室	議会事務局
	16:30	第58回政策戦略会議	庁議室	秘書室
3月18日(土)	10:00	多文化共生社会実現に向けた講演会及び討論会	金島ふれあいセンター	政策創造課
3月19日(日)				
3月20日(月)	10:00	予算常任委員会	大会議室	議会事務局

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
3月20日(月)	10:00	予算常任委員会	大会議室	議会事務局
3月21日(火)	10:00	道の駅「まえばし赤城」開駅式	道の駅「まえばし赤城」	農政課
3月22日(水)	9:30 10:00	渋川フラワーガイドの会通常総会 予算常任委員会	第二庁舎204会議室 大会議室	市民協働推進課 議会事務局
3月23日(木)	10:00 13:00 終了後 14:00	小学校卒業式 サントリーグループとの包括連携協定締結式 市長定例記者会見 広域組合 議会運営委員会	古巻小学校 庁議室 記者会見室 広域組合大会議室	学校教育課 政策創造課 秘書室 広域組合
3月24日(金)	10:00	3月市議会定例会: 表決、閉会	議場	議会事務局
3月25日(土)				
3月26日(日)	9:00 10:00	第27回渋川市武道フェスティバル シキシマエキマエピクニック2023	宮田商会武道館渋川 JR上越線敷島駅前	スポーツ課 政策創造課
3月27日(月)	8:30 10:00 13:00	庁議 半田こども園卒園式 市長定例記者会見	庁議室 半田こども園 記者会見室	秘書室 こども課 秘書室

資料1

日本のまんなか しぶかわ応援大使の委嘱記念品 「オリジナルこけし」が完成しました

「日本のまんなか しぶかわ応援大使」の委嘱記念品として、「渋川市」をイメージした「オリジナルこけし」が完成しました。

このオリジナルこけしは、デザインの検討を含む全ての制作を、創作こけしの分野で活躍している渋川市地域おこし協力隊・現代こけし作家の大野雄哉さんに依頼して完成させたものです。

この委嘱記念品は、令和5年3月1日時点で、大使に委嘱している13名にお渡しする予定です。

1 概要

渋川市のブランド力の向上及びイメージアップを図ることを目的として設置する「日本のまんなか しぶかわ応援大使」の委嘱記念品として、「渋川市」をイメージした「オリジナルこけし」が完成しました。

本市の特産品・伝統工芸品である「創作こけし」を採用した委嘱記念品は、「日本（群馬県）のまんなか 渋川市」を表現した「おへそ」や「共生社会実現のまち 渋川市」をイメージした絵付けなどでデザインされています。

また、このオリジナルこけしは、デザインの検討を含む全ての制作を、創作こけしの分野で活躍している渋川市地域おこし協力隊の大野雄哉さんに依頼して完成させたものです。

2 デザインについて

こけしのデザインは、「へそのまち」及び「共生社会」をテーマに制作者が検討し、市に提案したものです。

全国的に見て、雷の発生する日数が非常に多いことで知られている群馬県にある渋川市を表現するため、こけし全体のデザインを「雷様」としており、頭部には、2本の角があります。

また、本市が、日本そして群馬県のまんなか位置する「へそのまち」であることを表現する「おへそ」が特徴的です。

下半身には、「共生社会実現のまち 渋川市」のシンボルマークをイメージさせる、市の花・あじさいの柄をデザインしました。

背面に、「日本のまんなか しぶかわ応援大使」の文字と、大使の氏名を彫り込み、委嘱記念品となる「オリジナルこけし」としました。

※大使13名分のデザインを統一しておりますが、全て手作業で、伝統的な木工ろくろの技術により制作されたこけしは、世界に二つとないオリジナルこけしになっています



3 規 格

- (1) 材 質：みずき
- (2) サイズ：高さ・約18cm、直径・約10cm

4 大使への渡し方

原則、ご自宅や所属事務所などに送付します。ただし、渋川市を訪れる予定のある方には、直接お渡しできるよう調整します。

5 制作者について

大野雄哉さん（渋川市地域おこし協力隊・東京都出身）

令和元年9月に渋川市地域おこし協力隊に委嘱。渋川市の伝統工芸品である創作こけしの分野で活動し、各種受賞歴があります。また、個人事業主として、「伊香保こけし創作室」の屋号で作品の販売もしています。

＝受賞歴＝

令和3年 全群馬近代こけしコンクール 群馬県知事賞

令和4年 全群馬近代こけしコンクール 関東経済産業局長賞

全日本こけしコンクール 白石温麺賞



伊香保こけし創作室
Iko Creative Kokeshi

6 しぶかわ応援大使一覧（50音順）

	氏名	職業等
1	新井 敏弘さん	ラリードライバー
2	飯塚 健さん	映画監督・脚本家
3	一倉 宏さん	コピーライター
4	生方 ななえさん	ファッションモデル
5	加賀美 幸子さん	アナウンサー
6	渋川 清彦さん	俳優
7	清水 博正さん	演歌歌手
8	謝 明達さん	(株)裕源代表取締役
9	富田 伸明さん	キモノスタイリスト
10	保坂 修平さん	ジャズピアニスト
11	眞嶋 優さん	女優
12	森永 一衣さん	ソプラノ歌手
13	心奏 (らら) さん	ヴァイオリニスト・歌手

■問い合わせ先

市長戦略部 部長 伊勢 久美子（内線2410）

担当：秘書室（電話0279-22-2182）

室長 後藤 正己（内線2411）

広報戦略係長 熊迫 徳三（内線2419）

資料2

渋川市内で創業にチャレンジする人を応援します

渋川市は、これまで市内や重点地区で創業等をする人を対象に支援をしてきましたが、市内全域での創業ニーズが高まっていることから、市内全域での創業チャレンジを誘発し、商業及び地域の活性化を図ることを目的として、「しぶかわde創業チャレンジ支援事業補助金」を令和5年度から開始します。これは、市内で新たに創業する人に対して、創業時に必要となる費用を対象に最大50万円を助成するものです。

1 目 的

コロナ禍がもたらしたニューノーマル時代において、インターネット販売や宅配サービスの需要の高まりなど、社会情勢が大きく変化するなかで、市内における創業チャレンジの誘発と地域、商業等の活性化を図ることを目的とします。

2 概 要

これまで市内や重点地区で創業等をする人を対象に支援をしてきましたが、市内全域での創業ニーズが高まっていることから、これまでの助成制度を見直して、対象エリアを定めずに市内全域で創業チャレンジする人を支援する制度として創設するものです。

※令和2年度まで実施してきた空き店舗活用にぎわい創出推進事業（まちなか空き店舗出店者支援事業補助金）、空き店舗活用開業支援事業（空き店舗活用開業支援事業補助金）による家賃支援（営業開始から3年目まで）は、助成期間満了まで継続します。

3 名 称 しぶかわde創業チャレンジ支援事業補助金

4 補助対象者

- (1) 新たに創業する個人又は既に創業済みで申請時に創業の日から6か月を経過しない個人若しくは法人で、市内に主たる事業所などを設け、新たに事業を開始する者
- (2) 特定創業支援等事業として指定する創業セミナー等を受けている、又は創業開始までに受ける者
- (3) 補助金の交付申請前までに渋川商工会議所又はしぶかわ商工会が実施する創業相談等を受けている者 など

5 補助対象経費

- ・事業所の新設、増改築又は改修工事費
- ・設備又は大型備品の購入費
- ・広告宣伝費
- ・創業に必要な申請書類作成等に係る費用

6 補助金額 限度額50万円（補助率2分の1）

7 申請開始日 令和5年4月3日(月)（予定）

8 周知の方法

市ホームページや「広報しぶかわ」への掲載、商工関係団体へのチラシの配布などにより周知します。

9 予算額 655万7千円

※令和5年度一般会計予算案に計上しています

※しぶかわde創業チャレンジ支援事業：500万円(50万円×10件)

※継続家賃支援分：155万7千円

参考

1 重点地区

「渋川駅前通り沿線」(第2次渋川市中心市街地活性化プランにおける「まちなか出店者支援プロジェクト」の重点実施エリア)、「伊香保温泉石段街周辺」(伊香保温泉の石段及び石段と交差する道路の周辺で市長が適当と認めたエリア)及び「敷島駅前周辺」(敷島駅前信号から概ね200メートルのエリア)の地区です。

2 空き店舗活用にぎわい創出推進事業(平成27年度創設)

中心市街地の活性化とにぎわい創出を目的として、「渋川駅前通り沿線」の空き店舗を活用し、新たに出店又は開業する事業者に対し、店舗の改装費や賃借料の一部を助成する事業です。

3 空き店舗活用開業支援事業(令和元年度創設)

「伊香保温泉石段街周辺」及び「敷島駅前周辺」の空き店舗等の解消を図るとともに、商業の振興及び活性化並びに地域連携を推進するため、空き店舗等を活用して新たに出店又は開業する事業者に対し、店舗等の改装費並びに新築及び改築費、空き店舗の賃借料の一部を助成する事業です。

4 特定創業支援等事業

産業競争力強化法に基づいて認定された創業支援等事業計画(各市町村が策定)における創業支援等事業のうち、創業者の経営、財務、人材育成、販路開拓等の知識習得を目的として継続的に行う創業支援の取組の事です。渋川市の特定創業支援等事業は、高崎商工会議所が開催する「創業塾」又は群馬県商工会連合会が開催する「ぐんま創業スクール」において、経営、財務、人材育成及び販路開拓の4つの知識が身に付く講座を受講し、全体回数の7割以上出席することとなっています。

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭(内線4899)

担当：商工振興課(電話0279-22-2596)

課長 山田 量俊(内線4890)

まちなか再生・産業振興係長 山賀 真奈美(内線4895)

共生社会の実現に向けて 店舗改装・備品購入をする事業者を応援します

渋川市は、これまで市内事業者を対象に、店舗の改修工事等（耐久性、機能向上等）の助成を行ってきましたが、「共生社会実現のまち渋川市」をさらに推進するために、共生社会の実現に向けた店舗等の改装（段差解消や多機能トイレ設置に伴う工事等）をする市内事業者を支援します。

なお、共生社会の実現に向けて備品購入（車椅子利用者又は高齢者のための備品等）をする市内事業者への支援は継続します。

1 目 的

「共生社会実現のまち渋川市」を推進し、障がい者や外国人等、誰もが利用しやすい店づくりを実現することを目的とします。

2 概 要

これまで「店舗改装等助成事業補助金」として、市内事業者を対象に、店舗の改修工事等（耐久性、機能向上等）の助成を行ってきましたが、「共生社会実現のまち渋川市」をさらに推進するために、これまでの助成制度を見直して、共生社会の実現に向けた店舗等の改装を支援する「店舗バリアフリー改装補助金」を新設し、令和3年度から継続している備品購入を支援する「共生社会実現に向けた店づくり応援事業補助金」と合わせた「店舗バリアフリー改装等助成事業」を実施します。

3 店舗バリアフリー改装補助金

(1) 内 容

市内の来店型店舗（小売業、飲食サービス業、生活関連サービス業）を対象として、共生社会の実現を目的とした店舗の改装費用の一部を助成します。

(2) 補 助 額 限度額30万円（補助率2分の1）

(3) 補助対象者

ア 小売業、飲食サービス業、生活関連サービス業を主たる事業として営む市内の小規模事業者（常時使用する従業員の数が5人以下）であること

イ 交付申請前までに渋川商工会議所又はしぶかわ商工会による経営相談を受けていること 等

(4) 補助対象経費

ア 段差解消、スロープ等の設置又は改装工事

イ バリアフリー構造上必要な店舗前及び駐車場の舗装工事

ウ 車いす専用カウンター等の設置又は改装工事

エ 多機能トイレ等の設置又は改装工事

オ その他共生社会の実現を目的とし、この補助金の趣旨に適すると市長が認める改装工事

(5) 申請期間 令和5年6月1日(木)～21日(水)

(6) 実績報告期限 令和6年3月29日(金)

(7) 交付決定の採択

申請期間において予算を超える申請があった場合は、抽選とします。

4 共生社会実現に向けた店づくり応援事業補助金

(1) 内容

市内の来店型店舗を対象として、共生社会の実現を目的に導入する備品（貸出用車椅子、翻訳機、コミュニケーションボード等）の購入費の一部を助成します。

(2) 補助額 限度額3万円（補助率3分の2）

(3) 補助対象者

市内で営業している事務所又は事業所を置く事業者（支店は除く）等

(4) 補助対象経費

共生社会の実現を目的として、市内で営業している来店型店舗に設置する備品（車椅子利用者又は高齢者のための備品、目又は耳が不自由な者のための備品、日本語が不慣れな者のための備品等）等

(5) 申請期間 令和5年4月3日(月)～令和6年2月29日(木)

(6) 実績報告期限 令和6年3月29日(金)

5 予算額

615万円 ※令和5年度一般会計予算案に計上しています

内訳：店舗バリアフリー改装補助金：600万円（30万円×20件）

共生社会実現に向けた店づくり応援事業補助金：15万円

（3万円×5件）

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭（内線4899）

担当：商工振興課（電話0279-22-2596）

課長 山田 量俊（内線4890）

まちなか再生・産業振興係長 山賀 真奈美（内線4895）

資料4

住宅エコリフォームに補助金を交付します

渋川市は、脱炭素化社会の実現に向けて、令和5年度新規事業の「住宅エコリフォーム支援事業」において、省エネルギー化を目的とする住宅エコリフォームに対して、工事費の5%、最大10万円の補助を開始します。

1 概要

現在、国は、2050年までに脱炭素化社会を実現するため、建築物のエコ推進に取り組んでいます。これを受けて渋川市は、令和5年度の新規事業として、20万円以上の住宅エコリフォームに対して、工事費の5%、最大10万円を補助します。

2 補助条件

次の全てに該当するもの。

- (1) 申請者が居住している個人住宅であること
- (2) 市内の工業者に発注する工事であること
- (3) 市税を完納していること
- (4) 申請年度内に完了報告書の提出ができること
- (5) 工事の着手前であること

3 補助対象

次のいずれかに該当するもの。

- (1) 外装エコリフォーム（既存住宅の断熱又は遮熱性能向上）
- (2) 内装エコリフォーム（既存住宅の断熱性能向上）
- (3) 設備エコリフォーム（既存住宅の節水、節電、高効率、断熱等の性能向上）
- (4) 上記（1）から（3）のエコリフォーム付随工事
- (5) 上記以外で既存住宅の断熱、遮熱、節水、節電、高効率等の性能が向上する工事

4 補助金額

20万円以上の補助対象となる住宅エコリフォームに、工事費の5%、最大10万円を補助します。

5 申請方法

次の書類を建築住宅課へ持参又は郵送してください。

- (1) 申請書
- (2) エコリフォーム前の写真
- (3) エコリフォームの内容の分かる資料（図面、カタログ等）
- (4) 見積書のコピー
- (5) 市税の納税証明書（未納額のない証明用）
- (6) 対象住宅等の固定資産税・都市計画税納税通知書の写し

※申請書は、市のホームページ、建築住宅課にあります。

- 6 申請期間 令和5年4月3日(月)から予算終了時まで
- 7 予算額 1,200万円 ※令和5年度一般会計予算案に計上しています
- 8 周知方法 広報しぶかわ、市ホームページ
- 9 その他
現時点では、県内他自治体において、同様のエコリフォーム事業は未実施です。

■問い合わせ先

建設交通部 部長 柴崎 憲一 (内線4700)
担当：建築住宅課 (電話0279-22-2072)
課長 西島 学 (内線4710)
指導係長 木村 善彦 (内線4714)

犯罪被害者等の渋川市営住宅等への入居を支援します

「渋川市営住宅等条例」を改正し、令和5年4月から市営住宅等に優先的に選考して入居できる世帯を変更します。変更後は、渋川市犯罪被害者等支援条例の支援対象者のほか、DV被害者や障害者などについても、優先的な措置を講じて入居できるようになります。

1 概要

渋川市営住宅に優先的に選考して入居できる世帯について、現行の高齢者のみから犯罪被害者やDV被害者等についても拡大して支援します。

2 拡大対象世帯等

- (1) 母子世帯
- (2) 障害者世帯
- (3) 生活保護世帯で実施機関の推薦を受けたもの
- (4) 原子爆弾被爆者
- (5) 海外からの引揚者
- (6) ハンセン病療養所入所者等
- (7) DV被害者
- (8) 犯罪被害者
- (9) 東日本大震災被災者
- (10) 特殊疾病による障害者

3 施行期日 令和5年4月1日

4 渋川市営住宅等の状況（令和5年3月1日現在）

- (1) 戸数等 15団地64棟569戸
- (2) 空室数等 84戸（入居率84.9%）
- (3) 世帯別数（重複あり）
 - ア 母子世帯 77世帯
 - イ 高齢者世帯 210世帯
 - ウ 障害者世帯 93世帯

■問い合わせ先

建設交通部長 柴崎 憲一（内線4700）

担当：建築住宅課（電話0279-22-2072）

担当 課長 西島 学（内線4710）

住宅管理係長 金子 正樹（内線4705）